

交換留学 報告書（韓国・国立忠南大学校）

氏名	徳永 彩羽
学部/研究科・学年（留学時）	法文学部人文社会学科 2 回生
留学国名	大韓民国
留学期間	10 ヶ月
実施年月	2023 年 3 月 2 日～2023 年 12 月 21 日

1. はじめに

私は今回、韓国大田広域市にある、忠南大学に 10 カ月間留学しました。初めての海外どころか、親元を離れて暮らすことも初めてだったため、かなり不安が大きかったのですが、留学前から帰国するまで、様々な方のサポートのおかげで無事に交換留学プログラムを終了することができました。また、愛媛大学より海外派遣（長期）奨学金をいただいたおかげで、大変充実した留学生活を送ることができました。心より御礼申し上げます。

2. 留学をしようと思った理由

1 回生のころから韓国語の勉強を始め、オンライン留学プログラムの参加や、韓国人留学生との交流を通して、韓国について関心を持ち、留学を意識するようになりました。朝鮮半島の歴史や政治にも関心があったため、韓国語能力を向上させるだけでなく、現地の大学生と同じように専門的な講義を受講し、知識を習得したいと考え、長期プログラムへの参加を決めました。

3. その大学を選んだ理由

留学前、忠南大学から愛媛大学に交換留学に来た学生のチューターをしていました。その学生と親しくなり、忠南大学でのキャンパスライフや、大学のある大田広域市についてたくさん話を聞くうちに、忠南大学に留学したいと思うようになっていきました。国立大学であるため、費用が少し抑えられるという点も、選んだ理由の一つです。

4. 留学先で学んだこと（授業の様子）

韓国で過ごした 2 学期のうち、1 学期は、大学付属の語学堂で授業を受けながら、大学の講義を受けていました。語学堂では、様々な国籍のクラスメイトと共に、韓国語で韓国語を学びます。ディベートや発表、クラスメイトと協力して動画を作成する課題などもありました。韓国語の基礎知識を習得できただけでなく、様々な国の友人と切磋琢磨しながら勉強ができたことは、これまでの人生で初めての経験で、価値観の幅を広げることができたと考えています。

韓国の授業や課題のスタイルに慣れてきた2学期は、語学堂には通わず、大学の講義のみを受講することにしました。興味のある授業をたくさん受けてみたいと思い、現地の学生と同じくらい講義を受講していたので、前学期よりは忙しかったように思います。韓国語で韓国人と共に受ける授業は、専門用語や前提知識も含めて予習する必要があったため、簡単ではありませんでしたが、貴重な経験でした。発表の課題や、授業中日本人として意見を求められることもあったため、アカデミックな場面でのスピーキング能力についても、かなり伸びたのではないかと自負しています。



語学堂での発表



忠南大学のキャンパス

5. 現地での生活（住まいや食事）

寮は2人部屋で、ルームメイトは日本人だったため、問題なくコミュニケーションをとりながら生活できました。食事は、平日の昼、夜2食を寮の食堂で食べ、週末は外食や、部屋で食事しました。韓国料理や辛い食べ物が好きな私は、毎日の食事が楽しみでした。大学内に、カフェやコンビニがいくつかあり、銀行や郵便局もあったので、生活面でも、とても便利でした。



タッカルビ



サムギョプサル

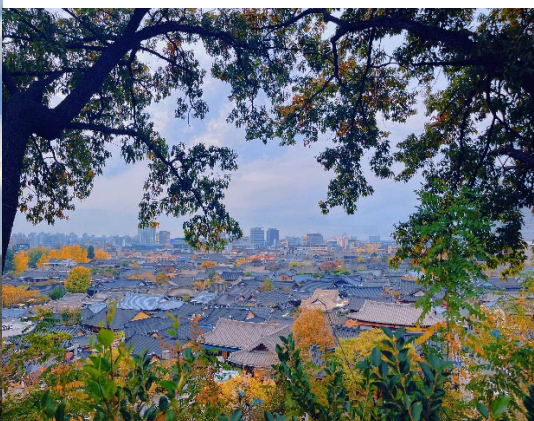
6. 留学先で楽しかったこと、辛かったこと

楽しかったことは、留学先でできた友人とかけがえのない日々を過ごしたことです。週に1回、大学のサークル活動に参加し、活動が終わると大学周辺の美味しい店にご飯を食べに行ったり、カラオケで韓国の歌を熱唱したりもしました。天気の良い日は、大学内の広大な芝生にレジャーシートを広げて、チキンを食べながら談笑したことも、忘れられない思い出の一つです。最初は会話についていけず、周りの反応に合わせて笑っていたこともありましたが、難しい単語は言い換えて説明してくれたり、言葉に詰まったら助け舟を出してくれたりした優しい友人達のおかげで、いつの間にか、皆の輪の中で、心の底から笑えるようになっていました。また、韓国は交通費も安く、忠南大学の位置する大田広域市は韓国の中心部にあるため、韓国内の様々な地方に旅行に行けました。地域ごとに方言や特産品などもあり、韓国の文化を肌で感じられました。

大変だったことは、現地の学生と同じレベルで求められる発表や発言、レポート課題などです。テスト期間には図書館で夜を明かすことも多々ありましたが、地下2階から地上5階まである忠南大学校の図書館は、いつもたくさんの学生が各々の勉強に励んでおり、私も集中力を保ちながら勉強することができていました。



大田 鷄龍山



全州 韓屋村

7. 終わりに

韓国は、日本の隣国であるため、似ている文化もありますが、異なる文化もたくさんあります。私が今まで当たり前だと考えていた価値観が、実は当たり前ではなかったことに気づくと共に、日本の歴史や政治、日本語についても改めて考えるきっかけになりました。留学は楽しいことばかりではありませんでしたが、大変だった経験も、留学を終えた今となれば、私を成長させてくれた、大切な時間だったと思っています。留学を通して培った経験を、今後のキャリアに生かしていきたいです。

このような貴重な機会をいただき、留学をサポートしてくれた愛媛大学および忠南大学の

教員やスタッフの方々、友人や家族に、改めて感謝の意を表します。